



未来を見据えた
教育アイデアを提案するプロジェクト

AND Speech Fes

AND Speech Fes とは？



2024年にAND Projectが始めた教育スピーチのプロジェクトです。

幅広い業界から講師が登壇し、未来を見据えた教育アイデアを提案します。ご参加いただいた皆様と、子ども教育について深掘りしていくイベントです。

「AND」は、子どもの「自主性」「主体性」という2つの力にフォーカスすることを意味しています。

これからの子どもの教育を「ちょっと良く。」を目指し、私たちはプロジェクトを推進していきます。



伊藤周平 Shuhei Ito

新潟県教員

長岡市バスケットボール協会強化委員長

AND Project代表

新潟県糸魚川市生まれ。2017年新潟県の教員としてスター
2020年に初めてバスケットボール指導を経験した。様々な人
との出会いや書籍からの学びをヒントに、スポーツ指導の価
値を「社会への貢献」に見出す。2022年AND Projectを設
立。現在、バスケットボール指導現場から「未来を見据えた
人材育成」を社会に広めるため、選手や指導者、保護者に向
けた各種の講習会（イベント）を行なっている。

AND Projectのご紹介





New idea & Redesign

教育を再設計する場をつくる。

目的

主体的で自律した子どもたちを育てていくための教育アイデアを社会に広める。

活動方針

子どもたちは、日常生活のあらゆる場面で影響を受け、成長していく。「社会全体で子どもたちを育てていく」という理念を掲げ、様々な業界から講師を招いて教育アイデアを紹介する機会をつくる。

子どもの主体性を育てる教育アイデアを広める。



子どもって、大人が思っている以上に「できる」のかもしれないなあ。



選手に考える余白を持たせてプレーさせることも大切かもしれないなあ。



子育ては「どう手をかけるか」ではなく
「どう手を離すか」かもしれないなあ。



講師による 基調講演や対談

AND Speech Fes



2024年度 登壇講師



本間朋弘 Tomohiro HONMA

横浜創英中学・高等学校校長。早稲田大学教育学部卒業後、神奈川県
の公立高校に29年間在職し、最後の9年間は神奈川県立柏陽高校、横
浜翠嵐高校の学力進学重点校で進学体制の構築に励むとともに、日本
史の受験指導に邁進。Z会から『解決センター日本史』『ハイスコア共
通テスト攻略日本史』など参考書を多数執筆。今から12年前に県職を
退職し、私学に転身。進学体制を構築するとともに、学校改革を推
進。現在は、学びを生徒の主体に移譲し、社会とつながる実学的な学
びを重んじたカリキュラムを構築。学校が変われば社会も変わることを
信じて、教育を本気で変える学校改革に取り組んでいる。その一方で、
働き方改革を、「目的である学校改革を為すための手段にすぎない」
と位置づけ、学校改革の前段としての組織的な働き方改革を進めた。学
校にとどまらず、自治体や民間の教育機関など、積極的に講演活動を行
い、新しい学校像の共有に努めている。



堀里也 Satoya Hori

新潟市公立中学校教諭。鳥屋野中学校卒業後に能代工業高校に進みキャプテンを務める。筑波大学へ進学した後、教員として地元新潟へ戻り、2017年には母校鳥屋野中学校を率いて全中準優勝、2021年には白新中学校を率いて全中優勝を果たす。U16男子日本代表のアシスタントコーチを務めるなど、育成年代の指導者としても精力的に活動してきた。また、白新中学校では、部活動改革を先頭に立って推進。2014年には同改革実践「生徒が輝くブカツイノベーション ～生徒自らがデザインする放課後活動の創造～」が、独立行政法人教職員支援機構（NITS・ニッツ）から第7回NITS大賞に選ばれた。



柳澤魁秀 KAISYU

文化庁芸術派遣講師、書・篆刻作家。2002年FIFAワールドカップ公式エンブレムを制作し、世界デビューを果たす。オリンピックをはじめ国内外のビッグイベントのロゴを制作。イタリア国立トリノ大学講師を務め、アメリカ、韓国、中国、チェコ、のTVにも出演。国際的な教育賞である白川静（しらかわしずか）漢字教育賞を受賞。書を通した子どもの教育活動を日本だけでなく、ヨーロッパでも広く行なっている。



鈴木将 Sho Suzuki

SUZUGROUP代表取締役社長

東京、大阪のレストランで、10年間飲食店運営について幅広い視点で学び、2007年に帰郷。父の経営する会社に入社後、地域に特化した多ジャンルの飲食店プロデュースや、伝統野菜を使用した食品開発などを手がける。イタリア、スペインでの食留学を経験後、地域の食を取り巻く現状を俯瞰的に見て再構築する「地域デザイン」の重要性に気づき、まちづくり、教育、観光といった様々な分野で地域の価値をアップデートする活動をしている。



鈴木良和 Yoshikazu Suzuki

株式会社ERUTLUC代表取締役社長

2024年パリオリンピックバスケットボール女子日本代表アシスタントコーチ、2025年バスケットボール女子U16日本代表ヘッドコーチ。茨城県出身。埼玉県在住。2007年に株式会社 ERUTLUCを立ち上げる。企業理念は、①より多くの子どもたちになりうる最高の自分を目指す環境を提供する、②チームスポーツだからこそできる教育に貢献する、③世界で最もビジョナリーなコーチチームをつくる。スポーツ分野にとどまらず、ビジネス界にも精通するコーチング理論を国際的に研究・進化させている。